

橋梁耐久性向上で  
工学会の論文表彰

金大・鳥居教授

金大理工研究域環境シス  
テム学系の鳥居和之教授ら  
が、耐久性に優れたコンク  
リート製橋梁の実用化に  
向けた研究で、プレストレ  
ストコンクリート工学会  
(東京)から2015年度の

論文部門の表彰を受けた。

鳥居教授は中堅ゼネコン  
のピーエス三菱(東京)と  
連携し、火力発電の副産物  
である石炭灰「フライアッ  
シュ」を混ぜたコンクリー

トを使い、ひび割れや塩害  
に強い橋梁の開発に取り組  
んだ。14年9月には、国内  
で初めてフライアッシュを  
混ぜたコンクリートの歩道  
橋を穴水町内に整備した。

2016.6.7 (火)

北國新聞朝刊 p26